



THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

2013.3 Vol.421
関西大学通信



関西大学

KANDAI STYLE

卒業記念特別号

特集

【ありがとう関大!】

卒業生からのメッセージ

【祝!卒業!!】

学長・在学生から卒業生へのメッセージ

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】

『社会人として必要なことは?』

【なるほど・ザ・関大!】

今、旅立ちのとき

関西大学 卒業式の歴史を振り返る



ありがとう関大!

卒業生からのメッセージ

今月の特集は卒業がテーマ。

まずは、16人の卒業生から関西大学での思い出を語っていただきました。

図書館

和田 成陽さん
経済学部4年次生

4年次生になると就活や卒論への意識が高まるので、この1年は頻りに図書館を利用しました。1、2年次生の時は講義のレポートのために利用していたという感覚ですが、今では読書で「未知」の世界を知ることが楽しくなりました。

Seahorse

梅田 雅也さん
法学部4年次生

4年間所属した水泳サークルSeahorse。あまり真面目な部員ではなかったけれど、毎日ワクワクした大学生活を送れたのはサークルのおかげです。普通に過ごしていたら出会えなかった友達の輪がどんどん広がったことに感謝です。

体育会野球部

井原 鈴加さん
商学部4年次生

新しいことに挑戦したいと考え、思い切ってマネージャーとして入部し、4年間所属した体育会野球部。素人で何も分からない状況でしたが、たくさんの人と出会い、仲間とのつながりの大切さを学びました。野球部で過ごした時間、仲間との出会いは私の一生の宝です!



メディアクリエイティブサポーター

田部 智亜貴さん
総合情報学部4年次生

これぞ総情ともいえる、メディアコンテンツ制作団体MCS。本格的な機材を使用した映画の制作や、スタジオを使ったイベントはここでしか体験できないもの。仲間の向上力の高さに刺激され続けた4年間でした!



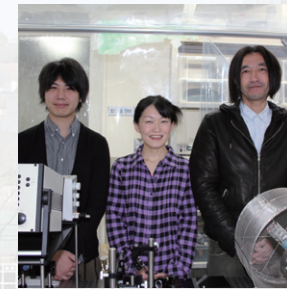
左が田部さん。右は友人の後藤昇一郎さん(情4)

実験室のみんな

山本 寛子さん
理工学研究科M2生

私は現象を起こす装置の開発や現象の解明を行い、共同研究者は計測器開発、放射光実験など分担して研究を進めてきました。それぞれが分担し、協力することで、成し遂げることができることを教わりました。「人と協力する大切さ」を教えてくださいありがとうございます。

中央が山本さん。右は指導教授の浅川誠先生



応援団

花岡 達也さん
法学部4年次生

応援団で過ごした4年間は、情に厚い仲間たちに囲まれて喜怒哀楽の激しい毎日でした。勝利の歓喜や敗北の悔しさなど、いろいろな感情が入り交じりながら斉唱する関西大学学歌は、一生忘れられない世界一の学歌です。



カリフォルニア

神原 啓太さん
文学部4年次生

関西大学の認定留学制度で行ったカリフォルニア。世界中の多くの仲間たちと過ごした1年間は大きく成長できました。苦しい時期もありましたが、カリフォルニアの空気を吸うと、勉強やボランティア、多国籍サッカーチームを立ち上げるなど、充実した留学生活が送れました。



ありがとう 関大!

～みんなのありがとう ○○!～



卒業生一同

悠久の庭

守屋 遼太郎さん
政策創造学部4年次生

授業が終わるといつも集まるのが、悠久の庭でした。ご飯を食べたり、いろいろな話をしたり、時には相撲をとったり…。悠久の庭は私たちの生活に欠かせない存在となりました。ここで育んだ友情は永久に不滅です。ありがとう、悠久の庭!

右が守屋さん。左は友人の小山大介さん(政策4)。



KUBIC

柴 恵理香さん
商学部4年次生

関大の全国規模のビジネスプラン・コンペティション「KUBIC」。大好評だったキュビビパンの販売企画、感動と涙の本選会。私の大学生活はKUBICでした!関わってくださった皆さんに感謝!!



キュビビパン

カイザーズ

平山 英明さん
法学部4年次生

4年間所属した体育会アメリカンフットボール部カイザーズ。「日本一」を目指して厳しい練習に毎日耐えてきました。最後は勝つことができなかったけれど、今まで一緒に過ごしてきた仲間は僕にとって「日本一」です。

撮影:市山光一氏 Accorder Inc.



展覧劇場

加藤 賢人さん
文学部4年次生

別の誰かに成り切って観客を感動させる…その素晴らしさを展覧劇場が教えてくれました。1年次生から4年次生まで総勢約40人で創る、汗と涙の詰まったお芝居は最高!!一生の思い出、ここにあり!!



上段左から4人目が加藤さん

人間工学研究室

西岡 隼基さん
システム理工学部4年次生

ラジオパーソナリティという肩書を持っていたことで研究室のムードメーカーとして大いに貢献しました(笑)。本来は春学期で研究が済んでいたはずですが、パーソナリティとの二足のわらじのおかげで、秋学期まで研究を続けられ、みんなと楽しい時間が過ごせました。



凜風館

伊藤 晃嗣さん
環境都市工学部4年次生

一人暮らしの私を生活面で支えてくれました!食事から日用品、書物まで一通りそろっているため不自由しない大学生活を送れました。旅行サービスのおじちゃん、毎回複雑な切符を発券してくれてありがとう。食堂のおばちゃん、いつも温かい笑みで話し掛けてくれてありがとう。



カンスポ

高垣 早希さん
社会学部4年次生

仲間、夢へと頑張る選手・監督、大学関係者の方、カンスポを通して本当に多くの方に出会いました。取材で見た選手の悔し涙や満面の笑みは忘れません。忙しい毎日だったけれど、それ以上に幸せでした。全ての方に感謝です!



ボランティア

若林 久美子さん
外国語学部4年次生

ボランティア活動を通じて出会ったみんなにありがとう。クリスマス会、淀川清掃、大阪マラソン、さまざまな場所ですてきな出会いに恵まれて、素晴らしい大学生活を過ごすことができました。ありがとう。



大阪マラソン

吉田 有輝さん
法学部4年次生

終始途切れることのない「関大頑張れ!」との応援を沿道の方から頂けたので、マラソンを完走できた喜び以上に、ゴールした後は感極まるものがありました。関大生だからこそ体験できた本当に貴重なマラソンとなりました。

(C)allsports



Y.T.さんには、実験方法を優しく丁寧に教えていただきました。Y.T.さんみたいなカッコいい先輩になれるように頑張ります！社会に出て、カッコいい先輩のままでいてください。

(S.U.さん) システム理工学部2年次生 男子

経済学部のアさん！ずっと好きでした！また部活に来てくださいね！卒業おめでとうございます！

(A.M.さん) 文学部1年次生 女子

内部進学の人からするとずっと身そばでいた先輩の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方に恥じないよう精いっぱい頑張りますので、偉大卒という誇りを持って全力でそれぞれの道を歩んでください。

(H.K.さん) 法学部3年次生 女子

坂本治也准教授ゼミをご卒業される先輩方、今日まで本当にお世話になりました！社会に出て、このゼミで学んだ事を忘れないでください。そして、「在素知賢」の精神を持ち続け、誇りを持って自分の道を突き進んでください。

法学部・坂本治也准教授ゼミ3年次生一同

Lin:KU卒業生の皆さんへ。先輩がいなくなった今、あらためて皆さんの偉大さが分かります。でも！私たちが卒業するとき後輩に「先輩は偉大だった」と言われるように頑張っていくので、先輩もっと大きな自分を目指してください！

Lin:KU1・2年次生一同

K先輩のおかげで、何となく負けず嫌いに磨きがかかりました。すごくお世話になったことは一生忘れません！先輩を私のことを覚えていてください！

(A.Y.さん) 社会学部1年次生 女子



祝!卒業!! 卒業生へのメッセージ

卒業企画第2弾。

続いては、これから新たな世界へと
旅立つ卒業生に向けて、
学長と在学生から贈る言葉を頂戴しました。

学長からのメッセージ



学長 楠見晴重

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

関西大学で出会った友人、先輩、後輩、教職員と一緒に過ごした大学生活はいかがでしたか。人生の一つの節目を迎えられた今、何かを成し遂げた達成感に浸っていることでしょう。

卒業後は就職する人、進学する人などさまざまな道に進まれます。関西大学で習得した知識を存分に発揮し、あるいは関西大学で得た貴重な財産を大切にして、それぞれの分野で活躍され、社会に貢献されることを心から祈っています。



先輩の皆さん、卒業おめでとうございます。「学生」から、社会に出ていく「大人」になって不安かもしれませんが、安心してください。関西大学で過ごした先輩方にはどんな困難も乗り越えられる力があるはずです！

(T.T.さん) 社会安全学部3年次生 男子

BPCの先輩方へ！登山の素晴らしさを伝えてくれて感謝しています！先輩方も今まで登ってきた数々の山、つらい道程の先にある頂上に立てた時の喜びを思い出し、頑張ってください！
ご卒業おめでとうございます！

Back Packing Circle後輩一同

卒業生の皆さん！ご卒業おめでとうございます。社会人となっていく皆さんのこれからの活躍を心より祈っております。これからさらに、つらくも楽しい人生となっていくと思いますが頑張ってください！

(T.S.さん) 法学部1年次生 男子

吹奏楽サークルBisの先輩方、卒業おめでとうございます！優しくて面白い先輩方が大好きです。一緒に演奏できたことを幸せに思います。一生の宝物です！これからも、それぞれのステージでキラキラ輝いてください！

吹奏楽サークルBis後輩一同

祝★卒業！祭典実行委員会4年次生の皆さん！
今まで本当にお世話になりました。
「お」大きな背中 「め」目指して 「で」伝統を 「と」遠く先まで 「う」受け継ぎます！

(K.S.さん) 社会安全学部2年次生 女子



2009～2012年の主な出来事

2009

- 4月 コミュニケーション・マークとタグラインを制定
- 5月 裁判員制度がスタート
- 6月 マイケル・ジャクソン氏死去
- 9月 衆議院選挙で民主党圧勝。政権交代で鳩山政権誕生
- 12月 体育会アメリカンフットボール部が甲子園ボウル優勝



2010

- 2月 バンクーバーオリンピック・パラリンピック開催
体育会アイススケート部の高橋大輔さん(文学研究科M2生)が日本人男子初の銅メダルを獲得
- 4月 宮崎県で口蹄疫被害が拡大
- 4月 高槻ミュージックキャンパス開設
社会安全学部・大学院社会安全研究科を設置
関西大学初等部・中等部・高等部を開校
- 4月 堺キャンパス開設。人間健康学部を設置
- 4月 関西大学北陽中学校を開校
- 6月 小惑星探査機「はやぶさ」7年ぶりに帰還
- 10月 チリ鉱山落盤事故・69日ぶりに作業員33人全員を無事救出
- 10月 根岸英一氏・鈴木章氏、ノーベル化学賞受賞



2011

- 1月 体育会サッカー部が全日本大学サッカー選手権大会で優勝
- 3月 東日本大震災発生
- 4月 大学院東アジア文化研究科、大学院ガバナンス研究科を設置
- 7月 地上アナログ放送が終了
- 10月 アップル社元CEOのスティーブ・ジョブズ氏死去
- 11月 大阪府知事選・大阪市長選。通称大阪ダブル選挙が行われる



2012

- 4月 化学生命工学部・石川正司教授、環境都市工学部・冬木正彦教授が文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞
- 5月 東京スカイツリーが開業
- 7月 体育会空手道部の清水希容さん(文1)がFISU世界大学空手道選手権大会で優勝
- 7～9月 ロンドンオリンピック・パラリンピック開催
体育会陸上競技部の東佳弘さん(人3)が4×400メートルリレーに出場
本学卒業生の和田伸也さんがパラリンピック陸上男子5,000メートル(視覚障害)で銅メダルを獲得
- 10月 関西大学学長に楠見晴重学長が再任
- 10月 京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞
- 11月 体育会バドミントン部の三納英莉佳さん(人3)が世界学生バドミントン選手権大会女子ダブルス・国別対抗戦で3位入賞
- 12月 フィギュアスケートグランプリシリーズ・ファイナルで高橋大輔さんが日本人男子として初優勝
- 12月 文化会速記部が全日本大学速記競技大会で49連覇を達成
- 12月 衆議院選挙で自民党圧勝。第二次安倍内閣発足



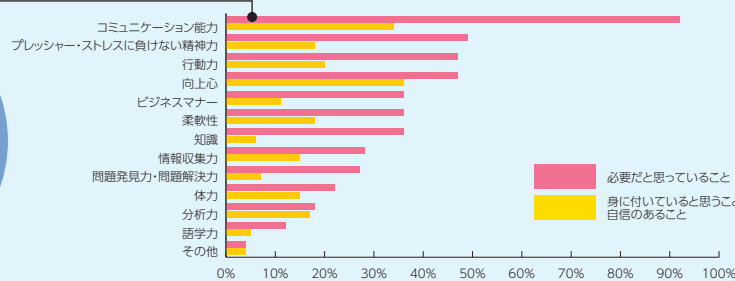
みんなで一緒に考えよう。

関大誌上教室 社会人として必要なことは？

アンケート実施期間：2012年12月19日～2013年1月21日 対象：関大生・卒業生 回答者数：関大生 169人(男子 60人 女子 109人)：卒業生80人(男性 56人 女性 24人)

今回の誌上教室では、関大生の皆さんと関大を卒業して社会で活躍しているOB・OGの皆さんが、社会人としてどのようなことが必要だと考えているのかをリサーチしました。

「コミュニケーション能力」は90%以上の人が必要と回答。「柔軟性」は4年次生からの回答多数。しかし、「身に付いている・自信がある」は多くの項目で半分以下という結果に。

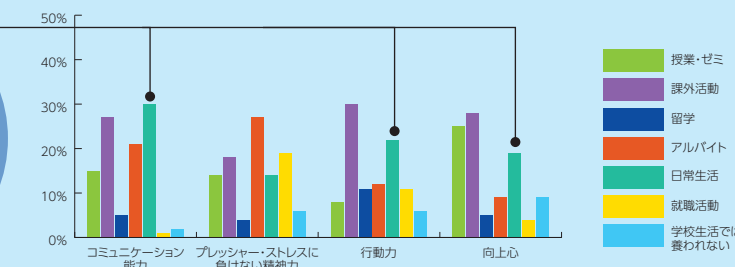


社会人として 必要だと思うことは？

(複数回答可・5つまで)

★関大生には、今の自分に身にあること(複数回答可)も聞き付いていると思うこと、自信がありました!

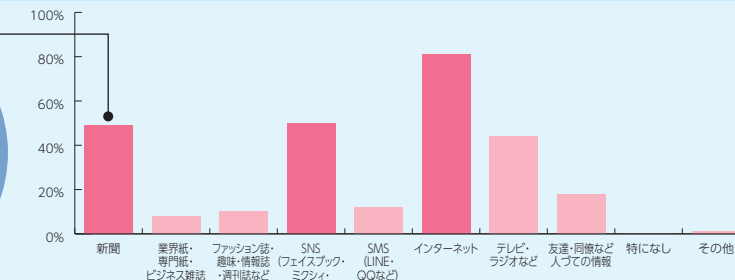
「授業・ゼミ」や「課外活動」と並んで、「日常生活」を選んだ学生多数。何げない普段の生活でも、心掛けひとつで自分を磨げるかも?



社会人として どのような場 必要能力は と思いますか？

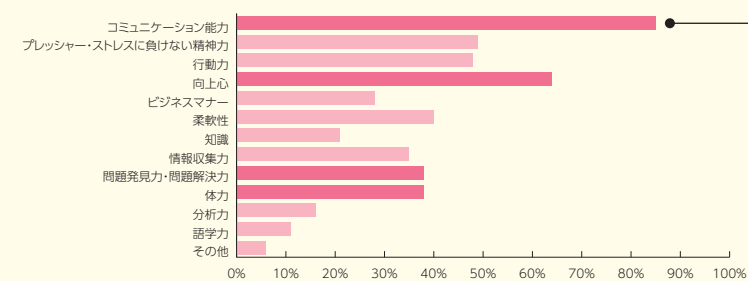
(上位4つを抽出)

「インターネット」[SNS]に次いで「新聞」が3位。紙媒体は敬遠されているのかと思いきや、特に就活中の3年次生と就活を控えた2年次生からの回答多数。

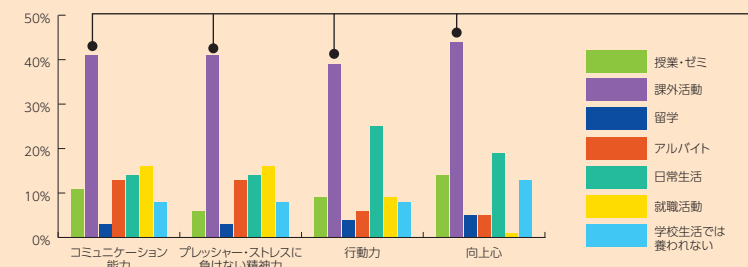


学生も社会人も情報収集は 大切です。今 使っている 主なツールは？

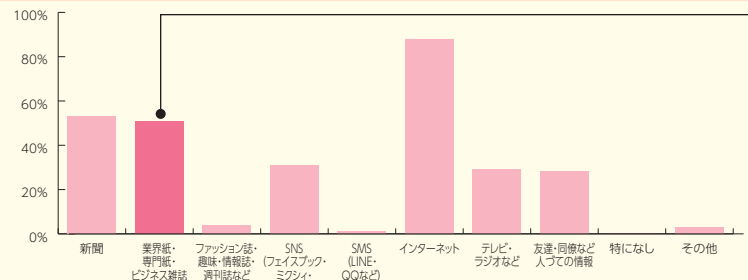
(複数回答可・3つまで)



卒業生でも「コミュニケーション能力」が最多。しかし、2位以下では「向上心」「問題発見力・解決力」「体力」などが関大生の回答と比べて上位にランクイン。



どの能力においても「課外活動」に回答が集中。課外活動で得られる経験は社会に出て役立つか?

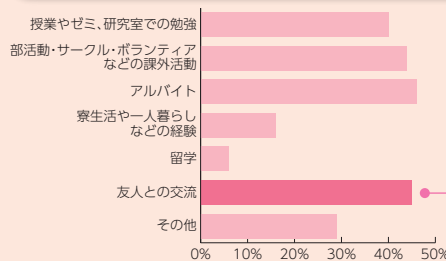


「業界紙・専門紙・ビジネス雑誌」は、2人に1人が主なツールであるという結果に。専門知識の習得、業界の動向チェックは不可欠!

どのような社会人になりたいですか?どのような能力を身に付けたいですか?

学部 学年	性別	コメント
M 2	男	どんな時も笑顔でいられる社会人になりたいです。子供のような好奇心を持ち続けたいと思います。
M 2	女	社会人を経て大学院へ入学し、授業や日々の生活、人を大切にすることなど、学生として基本的なことをおろそかにしない人は社会人としても信頼できる人だと痛感しました。
社 1	女	地域に密着して働く社会人になりたいです。自分から積極的に行動できるように、しっかりとした判断力や知識を身に付けたいです。
外 3	女	親孝行ができる経済力のある社会人になりたい。母親にいつも迷惑を掛けているので一生懸命働いて精いっぱい母を楽にさせてあげたい。学生生活で培ったものを存分に発揮して生き生きと働く社会人になりたいです。
人 3	男	私はまだまだ知識が乏しく、礼儀や作法も知らず、外国語も話せません。しかし社会人として人とコミュニケーションを取るに当たって失礼のないよう礼儀や英語を学び、異文化を体験して自分を大きくしたいです。

卒業生に聞いた、「社会に出て役立つ学生時代の経験は？」



卒業生のほぼ全員が学生時代の経験が「役に立つ」と回答。そのうち「友人との交流」が2位に。コミュニケーション能力向上や情報収集など、一番身近で有効!?

これから社会に飛び出す関大生へのアドバイス・メッセージ

業界	性別	勤務年数	コメント
I T	女	3	友達とのやりとりだけがコミュニケーションではないと心得て、ひとつのコミュニティーにとどまらずに多分野で経験を積んでください。話し方や所作、特にメールの文面など、目上の人に対するマナーを身に付けておくことも大切です。
総合商社	男	2	社会人になると全てが「0」からのスタートです。必要なのは「分からない事は、理解するまで聞く」ことに尽きると思います。関西大学卒の皆さまのご活躍を期待しています。
食品	男	10	社会に出ても学生時代にやってきた課外活動やアルバイトと同じです。どのような目標、目的を持って取り組んだか、出た結果についてなぜその結果が出たのかを常に考えることが大切だと思います。社会に出たときに必ず役に立ちます。
宗教	男	5	私は「働く」ということは「端(はた)を楽にする」ことだと感じています。周りの人の役に立って、周りの人を笑顔にすることのできる人になってください。いつも目の前の物事、チャンスや仕事を大切にして目の前の人をどれだけハッピーにできるかを考えて生活してみると、今まで見えなかったものが見えてくるのではないかと思います。
公務員	男	6	社会人になってもぜひ学び続けてください。仕事や日常生活で自分を助ける真の知識量＝教養力が必要になります。この力は学び続けることで鍛えられます。今後のキャリアが不安になったときは、学生時代の履修科目を思い出してください。解決へのヒントは全てキャンパスの中にあります。



OPINION OF PROFESSOR

キャリアセンター所長 経済学部 浜野 潔教授

「向上心を忘れずに」

社会人に必要な能力をいろいろな選択肢の中から選んでもらったところ、学生・卒業生共に「コミュニケーション能力」「ストレス耐性」「向上心」「行動力」の4つの項目を重視する結果となりました。その中でも「コミュニケーション能力」は最も重

要な能力とされていますが、自信があると答えた学生は半数以下にとどまっており、課題が見えてきました。先輩諸君は、社会人に必要な能力を部活動・ボランティアなど「課外活動」で身に付けたと答えており、この辺りは大いに参考にしてほしいと思います。

また、残りの3項目では、卒業生が特に「向上心」を大切だと考えていることが目につきます。例えば主な情報収集ツールを見てみると、卒業生の場合、「業界紙・専門紙・ビジネス雑誌」を半数以上の方が挙げており、より前向きに情報収集に取り組む様子が分かります。就職は決してゴールではありません。社会に出た後も、常に自分を高める努力を続けていくことが何よりも大事だといえるでしょう。

次号のテーマは…「あなたは海外に行ったことがありますか？」

インターネットやフェイスブックなどで海外が身近になり、ボーダーレス化が進んでいる昨今ですが、その一方で「内向き志向」と称されるように海外へ足を運ぶ日本の若者が減少していると言われています。

そこで4月号では、皆さんの海外経験を基に、関大生がグローバル化についてどのように考えているのかをリサーチします。

3月号「関大誌上教室」アンケートプレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「社会人として必要なことは？」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(3月15日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いします。

なるほど・ザ・関大!

今、旅立ちのとき

関西大学 卒業式の歴史を振り返る

1889年の第1回卒業式から、41万人を超える卒業生を世に送り出してきた関西大学。

たくさんの思いが詰まった卒業式、その歴史をひもといてみました。

『関大通信』で振り返る、歴代学長のお祝いメッセージ

昭和45年度卒業式

広瀬捨三学長



甲羅で覆われた海老や蟹のように、外だけヘルメットやゲバ棒でよろって、学内をうろついた者があったかもしれません。今後は無脊椎動物では生きていけません。どうか脊椎動物になってください。

昭和48年度卒業式

明石三郎学長



若いとき得たものは一生身を離れない。本日この記念すべき日に高い理想を掲げられよ。そしてそれに向かって着実に勇敢に若きエネルギーを燃やされんことを祈る。

昭和51年度卒業式

中 義勝学長



諸君の前途にそばだつ障壁は、いかなる生きざまに価値を見いだし、何に生きがいを求めるべきかという「時代の苦悩」である。気負わずひるまず一歩一歩着実に歩みたい。

昭和60年度卒業式

大西昭男学長



挫折するな、絶望するな、と私は諸君に申しません。自信と不安との、そして希望と絶望との、その振幅のありつたけを大きく生きよ、と申し上げたい。

平成6年度卒業式

石川 啓学長



本日より社会に貢献する立場にたつ諸君は、これからは社会における凱風の源となつていただきたい。諸君がその英知と活力でもって大いに活躍されることを衷心より願っています。

平成12年度卒業式

永田眞三郎学長



いまや市民生活でのさまざまな局面で、広範な情報の共有による競争環境の中にあって、勝手な思い込みによる独自性は通用しなくなり、地球市民としての感覚・価値観が求められているのです。

平成17年度卒業式

河田悌一学長



まさに創立120周年という記念すべき年に、関西大学を旅立たれた皆さんが、新たな使命を胸に抱いて、それぞれの道を有意義かつ果敢に歩んでいってくださることを、心から希望いたします。

平成23年度卒業式

楠見晴重学長



教職員、友人、先輩、後輩、そして41万人を超える校友との強い「絆」をこれからの人生の貴重な糧として、新しい社会へ大きく羽ばたき、活躍されることをお祈りいたします。

※文章は当時の「関大通信」の誌面の一部を抜粋しています。

第1回卒業式の挙行 1889年(明治22年)



第1回卒業記念写真

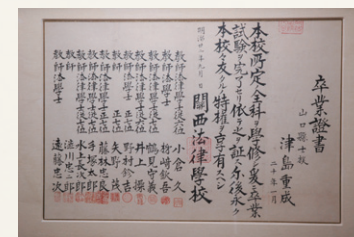


卒業式後に懇親会を開催した自由亭



榎本武揚

1889年(明治22年)9月16日、関西法律学校の第1回卒業式が行われました。卒業生は17人で、それぞれが所定の学業を修め、筆答・口答による厳しい卒業試験に合格した俊英ぞろいでした。式には文部大臣・榎本武揚、大阪府知事・



第1回卒業式の卒業証書

西村捨三、大阪控訴院長・児島惟謙など、朝野の名士が列席。校長代理・水上長次郎の式辞の後、講師・井上操が卒業生一人一人に証書を授与し、文部大臣が祝辞を述べました。

式後には、中之島の自由亭で晩餐会を開き、卒業生たちの前途を祝しました。自由亭は、当時大阪唯一の西洋料理店で、後に大阪ホテルと改め、大阪初の西洋式ホテルとなりました。



第1回卒業式を報じた記事

千里山キャンパスで初めて行われた卒業式 1928年(昭和3年)

関西大学の前身である関西法律学校は、大阪西区京町堀の願宗寺を仮校舎として開校されました。その後、入学希望者が殺到し、願宗寺では収容し切れなくなったため、1887年(明治20年)に興正寺別院へと移転しました。1903年(明治36年)に江戸堀、1906年(明治39年)に福島へと移転。そして1922年(大正11年)大学昇格とともに千里山学舎(大学予科校舎)が竣工し、大学部、大学予科が移転すると、その6年

後の1928年(昭和3年)に千里山キャンパスで初となる卒業式が行われました。



願宗寺(写真は昭和11年当時のもの)



福島学舎



1928年(昭和3年)の卒業式の様子

※写真は年史編集室所蔵(一部を除く)

学部・研究科トピックス

法学部／法学研究科

門出を祝って

3月は喜びと悲しみが入り交じる月です。緊張して入学式に臨んでいた皆さんが、キャンパス内や、遠くは海外においてさまざまな経験を積むことで、幾回りも大きくなった姿を見ることは、とてもうれしいことです。と同時に、教員の手の届かないところに飛び立っていくことは、寂しくもあります。多くの皆さんは、すぐに社会人としての責任の重さを実感するでしょうが、自分を信じて、そして自分を支えてくれる仲間を信じて、一步一步を踏み進めてください。卒業おめでとうございます。

(大津留(北川) 智恵子教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

学部生が淡路市の町おこしのために
現地調査を行いました

学部の1年次生と2年次生約10人が、1月から2月にかけ淡路市周辺を歩きました。関西大学の地域連携活動の一環で、市の町おこしに役立つような新しい観光ルートの開発が狙いです。大手の旅行代理店ともタイアップしており、学生らはパソナグループが地元で作った農場や廃校を利用したレストランなどにも足を運び、春学期に向け新たな旅プランの提案に頭をひねっています。

(深井麗雄教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

学問を修める最終段階(理工系3学部・理工学研究科の卒業)

年度末を目前とした1月・2月、理工系3学部および理工学研究科の皆さんにとっては、いよいよ実社会に羽ばたくための最終段階を迎えます。この時期は、学部4年次生、博士課程前期課程2年次生の皆さんにとって、卒業論文や修士論文の執筆、公聴会の準備に追われる時期となります。

3月19日(火)・21日(木)には、卒業式・修了式が举行されます。全学部卒業生約6,200人のうち、システム理工学部:約430人、環境都市工学部:約280人、化学生命工学部:約330人が卒業し、

理工学研究科からは、約420人が修了します。これまで本学の研究室で学んだことが、実社会で試されることになります。さらに高度な能力や技術を身に付けるために、研さんを重ね、大きく飛躍されることを心から期待しています。

3月23日(土)には、千里山キャンパスでオープンキャンパス(フレッシュキャンパス)が開催されます。本学では、年4回、高校生向けのオープンキャンパスを開催していますが、多くの新高校3年生の皆さんにとっては、このオープンキャンパスが大学とのファーストコンタクトとなります。

当日は、「学部別相談コーナー」、「入試相談コーナー」、「キャンパスツアー」などが設けられ、高校生にとっては、自分の将来像を具体的に考える良い機会となることでしょう。在学生の皆さんは、このころ抱いていた気持ちを思い出し、初心を忘れることなく、大学生活を充実したものにしたいと思っています。

2月9日に始まった第4学舎2号館3階から5階の耐震およびリニューアル工事も順調に進んでいます。新学期となる4月からは、耐震性の高い改装された教室で講義が行われることになります。

(環境都市工学部副学部長 山本秀樹教授)

文学部／文学研究科
東アジア文化研究科

新たな旅立ちに向けて

2年前の東日本大震災が明らかにした通り、今私たちは将来を予測することの極めて難しい、流動的な世界に生きています。こうした状況にあって、文学部が一貫して目指してきたのは、強靱(きょうじん)な論理と豊かな想像力で未来予想図を描く力の育成です。新たな旅立ちを迎えた今、皆さんはきっとそのことに気付いているはず。進む道はそれぞれ違うでしょうが、これまで文学部で学んできたことに自信を持ち、しっかりと将来を見据えて活躍されることを期待しています。卒業おめでとう!

(学部長 柏木治教授)

経済学部／経済学研究科

卒業する皆さんへ

卒業おめでとうございます。小学校入学以来16年間にわたる学校生活が終わり、いよいよ社会人としての第一歩が始まりますね。「社会人」とは、「一人前の人間として、思慮分別があり、社会的な責任を負える人間」、つまりは「大人」のことです。まずは10年間、職場で、地域で、周りにいる信頼できる大人の姿に学びながら、自分を育てていきましょう。そのためにもまず大事なのは、心と体の健康です。元気に活躍している姿をまた見せに来てください。

(学部長 植村邦彦教授)

人間健康学部

実習報告会を開催しました

人間健康学部の福祉と健康コースでは、1月17日に相談援助実習報告会を開催しました。昨年の夏に相談援助実習を行った3年次生が、福祉事務所、社会福祉協議会、高齢者福祉施設など実習種別ごとのグループに分かれて、実習の内容、学んだことなどを報告しました。

(石田慎二助教)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

ランチパックの商品開発と経営学

商学部の荒木ゼミでは、2011年度、2012年度の2回にわたり、山崎製パン(株)と共同でランチパックの新商品を開発し、関大発ランチパックとして年末に販売しました。学生は、新商品の開発のみならず、パッケージのデザインやプロモーションなども行いました。また、単なる特別な体験に終わらないように、経営学の理論に基づいて自らの活動を振り返り、卒業論文に取り組みました。商学部では、このようなプロジェクト型の活動を促進し、理論と実践を身に付けた課題達成型の学生を社会に送り出しています。

(荒木孝治教授)

社会学部／社会学研究科

社会学部卒業生が社会を変える

社会学部卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年卒業する皆さんは、在学中に2回の政権交代と東日本大震災という日本の歴史の中でも極めて大きな出来事を経験した学年です。これから実社会と向き合う時、社会学部で学んだことは長期的にじわじわと効いてくるものです。社会学部出身の社会人として社会をより良い方向に変えていってください。少しずつ。活躍を祈っています。

(学部長 小川博司教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

新しいライフストーリーに向けて

卒業おめでとうございます。皆さんは、入学当初とはまた違った視点や発想で物事に取り組む姿勢を学んできたと思います。これから希望と不安を抱きながらそれぞれの目標に向かって進んでいかれますが、思い通りの成果が得られないことも少なくないでしょう。しかし、その過程や結果に自分なりの意味を見いだし、発展的なストーリーを展開できるかどうかは、脚本家としての皆さんの構想力次第です。これからの人生の主役として、新しい環境でのスタートに幸多からんことをお祈りします。

(学部長 堀雅洋教授)

社会安全学部／社会安全研究科

社会安全研究科を修了した諸君へ

諸君は社会安全学部とは異なった分野を専門的に修め、社会安全研究科修士課程に進学してきたのであり、おのおのの専門の上に、いまだ未完とはいえ社会安全学の学問体系を学んだことになります。社会におけるさまざまな事象・動態には要素還元論的な視点だけで捉えることが困難で、総合的・包括的視点が要求されます。諸君のこれからの活躍に社会が注目しており、それに与えることが諸君の社会的責任でもあります。活躍を心より期待しています。修士課程修了、おめでとう。

(研究科長 小澤守教授)

専門職大学院トピックス

会計専門職大学院

公認会計士試験合格祝賀会を開催

2012年12月15日に公認会計士試験の合格祝賀会が開催され、会計専門職大学院からは9人(在学生は3人)の合格者を輩出することができました。彼らの多くは、監査法人に就職しますが、一般企業に就職する人もいます。これは、従来とは異なるキャリア形成を目指す現れといえるでしょう。多様なニーズに対応すべく、会計専門職大学院では2013年度よりコース制を導入します。同制度は、高度職業会計人を数多く輩出することに大いに貢献するものと期待されます。

(就職・資格対策委員長 中村繁隆准教授)

併設校トピックス

関西大学北陽高等学校

関大北陽3期生よ大志を抱け!

卒業おめでとうございます。君たちは、関西大学北陽高等学校3期生として旅立ちの時を迎えます。学業、クラブ活動、さまざまな行事などを通じて、自ら考え、行動することの大切さを感じ、困難に耐え、乗り越えた先にある達成感を味わう中でそれぞれが大きく成長できたのではないかと思います。体育祭で見せた学年を超えて団結したパワー、文化祭・プレフェスティバルで見せたパフォーマンス、模擬店、喫茶店などどれも見事なものでした。卒業してからも、今の自分に満足しないで「なりたい自分」を追求する姿勢を持ち続けてください。常に目標を定め、意識して過ごしてください。さらに成長した君たちの姿を見るのを楽しみにしています。

(北陽高等学校教頭 村上雄一)

2012年度 退職教員紹介

2013年3月31日をもって関西大学を去られる専任教育職員を紹介します。

文学部	入子 文子 大濱 眞幸
経済学部	元木 久
商学部	明神 信夫
社会学部	大西 正曹
	架場 久和
	佐藤 万亀子
	富田 拓郎 藤岡 伸一郎

政策創造学部	足立 幸男 一圓 光彌
外国語学部	杉谷 眞佐子
人間健康学部	金子 絵里乃
総合情報学部	宮下 文彬
システム理工学部	植村 知正
	内山 寛信
	岡田 博美
	栗栖 忠

環境都市工学部	豊福 俊英 冬木 正彦
化学生命工学部	浦上 忠
	三宅 秀和
	矢木 秀治
法科大学院 (法務研究科)	越山 和広
	鳥越 健治
	那須 彰

(敬称略)

お世話になりました。ありがとうございました。

関大トピックス

卒業生の皆さんへのお知らせ

図書館 ■校友としての図書館利用について

卒業生の方は、手続きをすれば卒業後も関西大学の図書館を利用できます。①各キャンパス図書館(室)で申請、②申込時には現住所を確認できる公的機関発行書類(運転免許証・健康保険証など)と利用券交付料金1,000円が必要、③利用券の有効期限は当該年度内で、更新の手続きをすれば次年度以降の継続利用が可能(更新手続は無料)、④利用券を紛失や破損された場合の再発行には交付料金1,000円が必要、の4点にご注意ください。詳しくは図書館ウェブサイトの「卒業生・学外の方へ」(http://web.lib.kansai-u.ac.jp/library/non_member)を確認いただくか、図書館内の掲示物でご確認ください。

【問い合わせ先】図書館メインカウンター 電話:06-6368-0266

キャリアセンター ■進路報告とOB・OG訪問にご協力ください

卒業後の進路(就職先など)をキャリアセンターに報告していない人は、至急ご連絡をお願いします。また、キャリアセンターでは、就職活動を行う在学学生に、OB・OG訪問を勧めています。皆さんも関西大学の先輩として、後輩から相談を受ける機会があれば、ぜひご協力をお願いします。

【問い合わせ先】キャリアセンター 電話:06-6368-0162

また、キャリアセンターでは、今後就職活動を続ける卒業生に対して、引き続きサポートを行っています。気軽に相談に来てください。

【問い合わせ先】キャリアセンター 電話:06-6368-0345

校友会 ■校友会の輪にご参加を

校友会は、約41万人の卒業生と在学生で組織され、会員相互の親睦と母校の発展に寄与することを目的としています。校友会の活動は、学生の学術・文化・スポーツの振興を積極的に支援するとともに、校友と母校の懸け橋となる機関紙「関大」を発行しています。また、社会貢献活動を行っている地域支部への支援、全国から多数の校友が参加するスプリングフェスティバルの開催、大阪の夏の風物詩である天神祭で奉拝船「関大丸」を出航させるなどさまざまな親睦事業も行っています。卒業後の皆さんの住所などは、校友会が管理・運営し、大学と共同で利用いたします。就職、転勤などで住所が変わった場合は、校友会事務局までご連絡をお願いします。

【問い合わせ先】校友会 電話:06-6368-0046~48

学生センター ■奨学金の返還について

奨学金の貸与を受けていた皆さんはご存じかと思いますが、貸与を受けた奨学金が先輩の返還金により運用されていたのと同様に、今後は皆さんからの返還金が後輩への奨学金の原資となります。返還方法などについては、それぞれの奨学金ごとに既に説明会が実施されており、「返還誓約書」の提出および「返還のしおり」などの配布も終了し、十分に理解していることと思います。返還の期日が近づくと、奨学生であった皆さんの手元には「振替案内」などが送付されます。返還関係書類が手元に届かないために、連帯保証人に迷惑を掛けたり、延滞利息を加算されたりすることのないよう、卒業後に異動(住所・氏名・連帯保証人の変更など)があれば、速やかに変更届を提出してください。長期にわたり著しく返還を怠っている場合は、法的手段に訴えることも含め、厳しい処置が取れます。また、日本学生支援機構は、延滞者への各種ローンなどの過剰貸付を抑制し多重債務化への移行を防止する観点から、延滞者に限り、個人情報情報関係の個人情報登録を実施しています。卒業後の返還計画をしっかりと立て、延滞しないよう注意してください。

【問い合わせ先】奨学支援グループ 電話:06-6368-1121(大代表)

セミナーハウス ■卒業後もセミナーハウスを利用できます

卒業後、校友となる皆さんは、関西大学の3つのセミナーハウス「彦根荘(滋賀県)」、「白馬梅池高原ロッジ(長野県)」、「六甲山荘(兵庫県)」を利用することができます。桜の季節に彦根荘、スキーが楽しめる梅池、夏の涼を求めて六甲山と、それぞれに楽しめるセミナーハウスです。家族旅行やゼミ・サークルの仲間たちとの再会の場としてご利用ください。利用を希望する方は、電話または教育後援会までお越しください。関西大学のウェブサイトから、案内、利用状況を確認することができます。

【問い合わせ先】教育後援会(校友・父母会館1階) 電話:06-6368-0055
月～金曜日 9:00～17:00

エクステンション・リードセンター ■資格取得で卒業生のキャリア形成を支援

皆さんは、卒業後についてどのような人生設計を描いているでしょうか。人生において、個人が職業能力をつくり上げていくこと、すなわち、「関連した職務経験の連鎖を通して職業能力を形成していくこと」をキャリア形成といえます。エクステンション・リードセンターでは、各種資格取得・国家試験受験対策を通して皆さんのキャリア形成をサポートするために、一般の方よりも安価な卒業生料金で受講できる対策講座を多数開講しています。思い立った際には、ぜひエクステンション・リードセンターへ詳細をお問い合わせください。

【問い合わせ先】エクステンション・リードセンター 電話:06-6368-0721

よもやまばなし

関大人 四方山話 ◆「山笑う」 学長補佐 西村 枝美 教授(法学部)



住み慣れた福岡を出て、仙台に就職したとき私を出迎えたのは3月末の雪だった。桜散るふるさから数時間後に自分を囲んだものが冬であったのである。それから、道端に生えている草が見慣れない、町のつくりが違ふ、と、ことごとくに神経が反応して適応が遅れた。それでもなお、3月中旬にウグイスが下手な第一声を上げ、春には美声に変わるとき。初夏にホトギスが木々の合間に声を響かせるとき。早朝の散歩のふりをして河原のそばに並び立つイチヨウの下の中か

らぎんなんを拾い集めるとき。楽しいなあ、と思うのである。

山笑うとはよく言ったものだ。この言葉がふに落ちたのは仙台に行ってからである。あの寒さから一斉に芽吹く山の切り替わりの見事さは、春を待ち焦がれるからこそ気付くのだ。

ご卒業おめでとうございます。4月から故郷を離れるあなたへ。あなたがこれから行く先を故郷としている人間がいる限り、そこはそう悪いところではない。

編集後記

10年ほど前、春のある日、アメリカの大学に留学しているゼミ卒業生から届いた卒業式への招待状で知ったのだが、アメリカでは大学の卒業式をcommencementというらしい。普通commencementといえば、何かの始まりを意味するから、「大学の卒業は新しい世界の始まり」という、何ともイキな表現である。卒業生諸君、ご卒業おめでとう! そして、これから始まる新しい世界が、元気に楽しく過ごした大学よりも、さらに笑いと活気に満ちた世界でありますように。(広報委員・人間健康学部教授 森下伸也)

KANSAI Univ. NEWS

発行日:2013年3月15日(年9回発行) 発行:関西大学広報委員会 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 電話:06-6368-1121(大代表)